

かすがい 市議会 だより



第56号

2009年11月



左：絹本着色天台大師像
中：銅製仁王像（2軀）
右：木造十一面観音菩薩立像

密蔵院多宝塔（熊野町）

嘉暦3年(1328年)に開山された医王山薬師寺密蔵院は、天台宗延暦寺末中本寺格で、寺運盛んな時代には全国に700余りの末寺を有し、寺域には塔頭36坊、3,000人を超える修行学侶がいたといわれます。多宝塔は天台密教系の寺院に多い建造物ですが、これは禅宗様式を取り入れた珍しいもので、国の重要文化財に指定されています。国指定重要文化財である木造薬師如来立像をはじめ、多くの文化財が歴史を物語っています。

平成20年度歳入歳出決算認定 平成21年度大型補正予算

（緊急雇用創出事業・子育て応援特別手当等）可決

平成21年 第5回定例会

平成21年第5回定例会は、9月8日から9月29日までの22日間の会期で開催されました。定例会には、決算14件、補正予算案9件、条例案5件、一般議案2件、議員提出議案3件、報告8件、人事案件2件が提出され、認定・承認・可決・同意・了承されました。また、請願2件が採択となりました。なお、一般質問は9月24日と25日に17名の議員が市政の課題について、市の考え方をたしました。

市議会のおはなし

予算や条例などの議案は次のように決定されます。

本会議（提案理由説明）

委員会



本会議は、議員全員で構成される会議で、議案や請願などを審議、審査します。



委員会は、選任された委員で構成し、4委員会あります。各委員会は本会議から議案の付託を受けて専門的に審査、慎重に審議し、委員会の最終的な意思を多数決で決定します。

本会議（一般質問）

本会議（採決）



市政全般にわたる市の考え方や方針について一般質問を行います。



各委員会での結果報告を受けて、賛成反対の討論を行い、議会の最終的な意思を多数決で決定します。

決算

一般会計決算

一般会計の歳入は841億1,019万7,330円で、前年度に比べ3.8%増加し、歳出は783億8,012万8,615円で、前年度に比べ2.3%減少しました。

実質収支は、14億6,168万8,742円の黒字決算となりました。

その主な要因は、歳入で法人市民税が減少したものの、個人市民税と固定資産税が増加したことが挙げられます。

特別会計決算

国民健康保険事業特別会計は、23億487万8,453円の赤字決算、また老人保健医療事業特別会計は、3,940万5,273円の赤字決算で、ほかの9事業は黒字決算ないしは収支同額となりました。

特別会計の合計では、実質収支は18億5,850万6,833円の赤字となりました。

企業会計決算

市民病院事業会計は、10億6,603万2,606円の純損出、水道事業会計は、1億1,516万3,226円の純損出となりました。

補正予算案

平成21年度一般会計補正予算の専決処分の承認

市税の過誤納還付金及び還付加算金に不足が生じたため3億円の補正をしたものです。

平成21年度一般会計補正予算

経済対策に関連した国の補正予算に対応する補正が主なものです。緊急雇用創出事業として、かすがいシティバス運行整理や、道路施設安全対策などの事業を行い、99人の雇用を創出します。地域活性化・緊急経済対策臨時交付金事業として、新型インフルエンザ対策、市道側溝整備、学校情報通信技術環境整備などを行います。また子育て応援特別手当交付金事業として子育て応援特別手当支給事業を行います。これら総額で19億9,393万8,000円を補正するものです。

平成21年度国民健康保険事業特別会計補正予算

後期高齢者医療支援金など、総額で2億3,614万6,000円を補正するものです。

平成21年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算

後期高齢者医療広域連合納付金など、4,373万1,000円を補正するものです。

平成21年度老人保健医療事業特別会計補正予算

支払基金交付金返還金952万9,000円を補正するものです。

平成21年度介護保険事業特別会計補正予算

介護給付費準備基金積立金や、緊急雇用創出事業の地域包括支援センター相談体制拡充など、3億2,667万4,000円を補正するものです。

平成21年度春日井都市計画松河戸土地区画整理事業特別会計補正予算

物件移転補償4,980万円を補正するものです。

平成21年度勝川駅周辺総合整備事業特別会計補正予算

勝川駅前広場整備工事、勝川駅南口歩道橋築造工事9,400万円を補正するものです。

平成21年度公共下水道事業特別会計補正予算

緊急雇用創出事業の排水設備図書データ整備や、管渠築造工事など、7,993万8,000円を補正するものです。

条例案

市税条例の一部を改正する条例

農地法等の一部を改正する法律における土地改良法の一部改正に伴い、規定を整備するものです。

消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

消防法の一部改正に伴い、規定を整備するものです。

国民健康保険条例の一部を改正する条例

平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間に出産したときに支給する出産育児一時金の額を35万円から39万円に引き上げるものです。

子ども福祉手当条例の一部を改正する条例

子ども福祉手当の支給に係る所得の計算方法について、児童扶養手当は所得加算されないため、同じように子ども福祉手当を所得に加算しないように規定を整備するものです。

手数料条例の一部を改正する条例

土壌汚染対策法の一部改正に伴い、汚染土壌処理業の許可に係る手数料を定めるものです。

一般議案

消防自動車の購入契約

高蔵寺出張所（高蔵寺町3丁目）配備の化学消防ポンプ自動車を更新するものです。

契約金額 4,195万8,000円

相手方 日本機械工業株式会社名古屋営業所

救急自動車の購入契約

高蔵寺出張所（高蔵寺町3丁目）配備の高規格救急自動車を更新するものです。

契約金額 2,572万5,000円

相手方 愛知日産自動車株式会社



請願審議

第5回定例会に、2件の請願が提出され、委員会に付託し、審査しました。その後、本会議で委員長の審査結果報告の後、採決し、その結果は次のとおりです。

学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める請願書.....採択

私立高校に子どもを通わせる保護者に対する授業料助成金の拡充を求める請願書.....採択



人事案件

任期満了に伴い、公平委員会委員に川合伸子氏の選任に同意しました。

また、任期満了に伴い、人権擁護委員に加藤太氏の推薦を了承しました。

議員提出議案

学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める意見書

愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書
 国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

第5回定例会

上程議案と審議結果

決 算.....14件

平成20年度一般会計歳入歳出決算	認定(賛成多数)
平成20年度公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成20年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定(賛成多数)
平成20年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定(賛成多数)
平成20年度老人保健医療事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成20年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成20年度介護サービス事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成20年度民家防音事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成20年度潮見坂平和公園事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成20年度春日井都市計画松河戸土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算	認定(全会一致)
平成20年度勝川駅周辺総合整備事業特別会計歳入歳出決算	認定(賛成多数)
平成20年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定(賛成多数)
平成20年度春日井市民病院事業会計決算	認定(全会一致)
平成20年度水道事業会計決算	認定(全会一致)

補正予算案.....9件

平成21年度一般会計補正予算の専決処分の承認	承認(全会一致)
平成21年度一般会計補正予算	原案可決(全会一致)
平成21年度国民健康保険事業特別会計補正予算	原案可決(全会一致)
平成21年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算	原案可決(全会一致)

平成21年度老人保健医療事業特別会計補正予算	原案可決(全会一致)
平成21年度介護保険事業特別会計補正予算	原案可決(全会一致)
平成21年度春日井都市計画松河戸土地区画整理事業特別会計補正予算	原案可決(全会一致)
平成21年度勝川駅周辺総合整備事業特別会計補正予算	原案可決(全会一致)
平成21年度公共下水道事業特別会計補正予算	原案可決(全会一致)

条例案.....5件

市税条例の一部を改正する条例	原案可決(全会一致)
消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	原案可決(全会一致)
国民健康保険条例の一部を改正する条例	原案可決(全会一致)
子ども福祉手当条例の一部を改正する条例	原案可決(全会一致)
手数料条例の一部を改正する条例	原案可決(全会一致)

一般議案.....2件

消防自動車の購入契約	原案可決(全会一致)
救急自動車の購入契約	原案可決(全会一致)

人事案件.....2件

公平委員会委員の選任の同意	同意(全会一致)
人権擁護委員の推薦	異議なし(全会一致)

議員提出議案.....3件

学級規模の縮小と次期定数改善計画の実施を求める意見書	原案可決(全会一致)
愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書	原案可決(全会一致)
国の私学助成の増額と拡充に関する意見書	原案可決(全会一致)

一般質問

市政全般にわたる問題について質問します

今回の定例会では、17名の議員が市の考え方や方針など、市政全般にわたり、30項目の一般質問を行いました。一般質問は、市当局に対し施策・事業などの現状や将来計画の考え方など、市民に密着した問題をただすため行うものです。各議員の質問と当局の答弁を、要旨で掲載しています。

(一般質問については、質問者から提出された原稿で掲載しています。)



1 南部浄化センター増設工事箇所 土壌調査結果報告について

質問者 政木 りか

質問 7月末、南部浄化センター増設工事箇所の土壌から、環境基準値の6.3倍のヒ素が検出されたと報告がありました。しかし、すでに昨年11月には基準値を超える土壌汚染が発覚しており、市は当初予算に積算していたのに、市民にも議会にも明確な説明がされていない。市民の健康保全を第一に考えなければならない市の説明責任と処理費用計上について問う。

担当 企画経営課

【答弁】健康被害の拡散があるかどうかを最優先に考え、まず、地下水からはヒ素が検出されていなかったこと、土壌含有量が基準を大幅に下回り、周辺への影響がないことを確認しました。土砂搬出等の土工事は、一般的には土工事として考え、ご説明申し上げており、処分費は、管理型処分場で概ね3万円/m²かかると見込み、搬出量を約3千m³と考えて、平成21年度の予算1億7千万円の内、9千万円を予定しております。



2 教育委員会の会議について

質問者 中藤 幸子

質問 小中学校の適正規模等に関する基本方針(案)が8月17日の文教経済委員会に報告された。しかし、定例教育委員会の会議録を見る限り、この基本方針(案)が、議題とされた形跡はない。この案はどのようにして作成されたのか。教育委員会の議論を経たものなのか。また、教育委員会の会議録は、春日井市の情報公開条例の趣旨からして簡素すぎるのではないか。

担当 学校教育課

【答弁】基本方針(案)は、「適正規模等検討委員会」からの提言を受け、直後の定例教育委員会で提言内容を報告し、これを基に事務局で作成を進め、文教経済委員会に報告することが承認されました。その後、7月の定例教育委員会で市民意見公募等の意見を踏まえ、議論を進めていくこと等を説明しました。

今後は、審議の進め方について配慮するとともに、会議録のあり方についても一定の方向性を定めてまいります。



その他の
質問事項 情報公開条例について
公共施設のトイレの洋式化について

3 鳥居松地区商店街の活性化、再生について

質問者 山際 きよし

質問 鳥居松地区商店街の現状と支援策はどのようになっているのか。近い将来に計画されている春日井駅の周辺整備に合わせた商店街の活性化、再生策が必要である。中心市街地活性化法に準じたタウン・マネジメント手法を取り入れ「まちづくり会社」を設立し空き店舗等のコンバージョン(異なる用途への変更)やテナントミックスなど実施することについて問う。

担当 経済振興課

【答弁】鳥居松地区には3つの商店街があり、約3割が空き店舗などになっています。市はこれまで、商店街の施設整備、催事の開催などの共同事業及び空き店舗対策などに対して助成を行ってきました。現在、鳥居松地区の商店街では、まちづくり協議会を組織し、地区の活性化について様々な意見交換がされており、ご質問の各種施策については、協議会を中心に今後の課題としてまいります。



その他の
質問事項 自殺予防対策について

4 春日井市における「認定こども園」制度の導入について

質問者 安達 佳代

質問 就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第77号が公布され、保育所と幼稚園の機能を併せ持つ「認定こども園」の制度が平成18年10月1日から始まりしました。保護者の就労の有無などに関わらず、すべての乳幼児を受け入れ教育・保育を進めるとともに、地域の子育て支援を行う新たな制度を、子ども施策全体で検討できないか。

担当 保育課

【答弁】認定こども園の設置については、国の新待機児童ゼロ作戦で求められているとともに、「安心こども基金」による補助制度も強化されております。本市においては待機児童が発生している状況から、この制度が待機児童の受け皿になりうるものであり、市民にとっての新たな選択肢ともなるため、制度の活用については、今後の法人からの要望等も把握し、子ども施策全体を捉えるなかで検討してまいります。



5 障がい者による独居高齢者への“声かけ電話”事業について

質問者 田中 千幸

質問 核家族化が進み、一人暮らしの高齢者も増加傾向にある。また長野県では、06年度から「傾聴ボランティア養成講座」を開催し1,200人が受講している。高齢者対策として、登録をされた独居高齢者に募集された障がい者の方が毎朝、電話をかける事業が考えられる。障がい者の就労支援も兼ねた高齢者の安否確認にもつながる事業を行うことについてご所見を伺う。

担当 高齢福祉課

【答弁】障がい者による、ひとり暮らし高齢者に対する声かけ事業については、高齢者にとって元気の元となったり、障がい者の自立支援につながる面もあると思いますが、全国的にもあまり例を見ない事業ですので、様々な角度から慎重に研究する必要があると考えます。当面は、久留米市で行われているモデル事業の実施状況を調査してまいります。



その他の質問事項 ハローワーク情報を発信できるコーナーの設置について

6 若者の居場所づくりについて

質問者 小原 はじめ

質問 中・高校生の居場所づくりとして、学校でもない、家庭でもない「中間領域的」な、地域で気軽に仲間作りができるフリースペースが岩手県奥州市や東京都杉並区で開設されている。市での取組みについて問う。
若者の間で流行しているストリート系スポーツの専用施設が、小牧市や全国の自治体で整備されている。春日井市でもストリート系スポーツ施設の整備が必要と思うが考えを問う。

担当 子ども政策課・スポーツ課

【答弁】本年度、次世代育成支援対策行動計画（後期）の策定にあたりまして、青少年の居場所づくりのあり方、施策等について、引き続き検討してまいりたいと考えております。ストリート系スポーツ施設については、場所の選定、施設の運営方法等に問題が生ずる観点から設置予定はありませんが、幅広いスポーツ振興を図る観点等から各市の状況等を調査してまいります。



7 工場移転に伴う大規模商業開発について

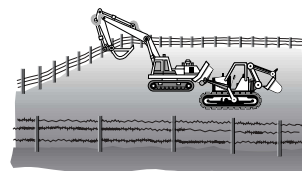
質問者 長谷川 健二

質問 本市は、まちの産業を活性化するため企業の誘致を進めている。如意申町にあった企業が撤退し新たな企業の誘致を進めていたが、結果的に商業施設が来ることになった。周辺には同様の商業施設があり、生活環境や既存の商業への影響を考える必要がある。今後商業施設出店に伴い、既存商店街や地域住民との共存をどのように取り組んでいくのかを問う。

担当 経済振興課

【答弁】県が制定した愛知県商業まちづくりガイドラインの中で、事業者には自主的な地域貢献活動を折り込んだ地域貢献計画書の提出が求められており、また、出店地域の町内会、商業団体等と対話・意見交換を行う、地域貢献懇談会の開催を各年度に行うこととしております。

今後とも、県との緊密な連携のもと、ガイドラインの適正な運用に努めてまいります。



8 事業所税の課税スタートに 当たっての諸問題について

質問者 水谷 忠成

質問 10月から事業所税の徴収が開始される。現在の経済不況から納税は対象企業の経営を圧迫する。財政部が推進する徴収業務で、地方税法における「徴収の猶予・分割納付」の検討。また、企業の負担を軽減する為に、産業部が推進する「企業支援ガイド」の内容を既存企業の実情に合った支援策の実現と、周知について直接企業に出向き説明する事について問う。

担当 市民税課・企業活動支援課

【答弁】納税が一時的に困難な企業については、地方税法の徴収猶予の要件等の規定に該当する場合、徴収猶予や分割納付が可能です。

企業支援ガイドの内容については、商工業振興審議会にて企業のニーズを踏まえ、新たな施策や施策の見直し等を検討し、企業支援施策を取りまとめまいります。また、企業訪問を積極的に行い、企業の目線に立った相談・PR活動を行ってまいります。



9 環境問題について

質問者 水野 義彦

質問 環境意識が高まる中、市では平成10年度から家庭用太陽光発電システム導入の補助を行っているが、その実績について問う。さらに新政権が、温室効果ガスの排出量25%削減を表明したが、それを受け今後の市の取り組みについて問う。次に、駅前ロータリーではタバコのポイ捨てが多く、今後の駅前周辺の環境美化活動の取り組みについて問う。

担当 環境政策課・ごみ減量推進課

【答弁】平成20年度までに760件、総発電量2,686kWの補助をしました。温室効果ガス排出量25%削減表明は温暖化対策が進むと期待しており国の動向を見て対応してまいります。

次に、駅前周辺の環境美化活動については、平成8年に「ポイ捨て及びふん害の防止に関する条例」を施行し啓発しています。引き続き、区町内会等による各駅周辺の清掃活動の支援とともに広報等による啓発に努めます。



10 雨水対策の促進について

質問者 佐々木 圭祐

質問 浸水する地域の現状と対策について、昨年以来、各所にて改善をお願いしてまいりましたが、どのような対策を講じて頂いたのか、今後の雨水対策はどのように考えているかを問う。また、雨水貯留浸透施設設置補助制度の推進状況について、水環境の保全と浸水被害の防止に有効な雨水タンクの一層の周知を図るべきかと思ひ補助件数、推進状況について問う。

担当 河川排水課

【答弁】これまで浸水被害の軽減を図るため、小学校などへの雨水貯留施設の設置や、排水路等を整備してまいりました。今年度、篠田公園に地下貯留施設を設置するための実施設計を進めており、今後も対策が必要な地区の調査研究してまいります。また、各家庭の雨水貯留タンクなどの補助件数は累計で162件で、これからも利用促進を図るため、広報等で普及啓発に努めてまいります。



11 公園の管理について

質問者 伊藤 隆司

質問 公園遊具等で不慮の事故が発生しているため横浜市内の小児科開業医が中心になって分析に取組み、国土交通省は昨年8月に「遊具の安全確保に関する指針改訂版」を出しました。主な内容は、基礎部分が露出しているコンクリート部分は原則として埋め戻すかラバー等の衝撃吸収材で覆うよう求めています。公園等の遊具を早期に点検することについてを問う。

担当 公園緑地課

【答弁】市では公園の遊具管理につきましては、専門業者による年2回の遊具点検や、職員による巡視・地元住民からの通報などにより、危険箇所につきましては随時コンクリート部分の埋め戻しなどの処置を行っています。今後におきましても安全で安心して遊具を利用いただけるよう管理してまいります。



その他の
質問事項 市民病院の諸問題について

12 企業支援事業について

質問者 高田 敏亨

質問 「産業振興アクションプラン」は、本年3月に市内企業の成長支援やイノベーション等の産業支援を目的に策定された。民間企業を取巻く環境は、昨年からの大不況の中で海外需要の輸出関係で一部の景気回復の兆しが見えるが中小企業などの末端事業者まで届いていない。本市として事業所税が課せられる事もあり、この独自の産業支援事業促進策について問う。

担当 企業活動支援課

【答弁】新企業支援施策については、産業振興アクションプランに基づき、「企業支援ガイド」を作成し、各企業や金融機関等へ配布したほか、窓口等への設置や広報・ホームページへの掲載等、広くPRを図っております。今後、更に利便性を図るため、新たな産業支援情報サイト等による周知について、調査・検討してまいります。



13 増加する男性介護者への支援策について

質問者 前田 扶美子

質問 男性介護者による虐待等の悲惨な事件が多発し社会問題化しています。その背景には、男性介護者への社会的認知や支援制度の低さがあり、介護退職や介護難民の増加もますます懸念されます。行政の男性介護者に対する制度充実は、全国各地でも期待の声が上がっており、急を要する課題です。そこで、増加する男性介護者への支援について今後の具体策をお尋ねします。

担当 高齢福祉課

【答弁】本市では、家族介護者の支援策として、「家庭介護のためのハートフルケアセミナー」「家族介護者交流会」「認知症介護家族支援教室」を開催しています。これらの事業は、介護に不慣れな男性介護者の負担軽減にも役立っていると考えます。今後においては、これらの事業について、より多くの男性の介護者が参加できるよう工夫してまいります。



14 就学援助について

質問者 伊藤 建治

質問 視力の悪い児童にとって、眼鏡は勉強やスポーツ活動に欠かせない。黒板の字が見えない、本が読みづらいなどの状態では、集中力、学習意欲が低下し、学力の低下にも繋がる。スポーツや体を使った遊びの中では、ケガや事故のリスクも高くなる。また、精神の発達障がいや、情緒不安に繋がるとの指摘もある。眼鏡を就学援助の対象とすべきではないか、問う。

担当 学校教育課

【答弁】就学援助制度の対象者に支給する内容としては、学校生活に必要な学用品費、校外活動費、修学旅行費、学校給食費、医療費等です。しかしながら視力矯正は、医療費の対象ではありません。こうしたことから、現在眼鏡の購入費は、就学援助の対象としていませんが、黒板の字が読めないと学習に支障が生ずることもあり、今後他市の動向等も含め調査研究してまいります。



その他の質問事項 ワクチン接種について
国民健康保険の一部負担金減免について

情報提供のありかたについて

15 高齢者などのちょっとした困りごとを解決するサービス

質問者 宮地 ゆたか

質問 電球の取替えに困る・家具のちょっとした移動も重くて・草取りが大変、などと言う高齢者の声を聞きます。これに応じて、東京の文京区ではシルバー人材センターに委託して「シルバーお助け隊事業」を行っています。70才以上の高齢者・障がい者世帯が対象で、電話で申込み、自己負担は1回300円。利用は年4回まで。同様の事業を実施する考えを問う。

担当 高齢福祉課

【答弁】社会福祉協議会が「にこにこヘルプサービス」により行っている、部屋のちょっとした模様替えなどにあわせて、電球交換についても依頼ができます。庭木の剪定などについては、シルバー人材センターに依頼できます。このように何らかの方法で困りごとへの対応が行われていますので、ご質問の支援策については、今のところ考えておりませんが、より良い支援策について研究してまいります。



その他の質問事項 市営納骨堂等の建設について
生活保護受給者が入所できる特養について

配慮を必要とする方の診療について

16 子どもの医療費無料化拡充について

質問者 内藤 富江

質問 子どもが病気の時は、お金の心配なく医者にかかれるようにして欲しいという思いは子育て世代の切実な願いです。特に慢性的な疾患を持っている子は大きくなって医療機関にかからなければなりません。08年度県が医療費を拡大したことにより、多くの市町村が上乗せをし、中学卒業まで拡大しました。我が市も通院を中学校卒業まで拡大することについて問う。

その他の 教育行政について
質問事項

担当 保険医療年金課

【答弁】子ども医療費助成については、平成20年4月から、通院について小学校3年生まで、入院については中学校3年生までに対象を拡大したところです。さらに、対象者の範囲を拡大することについても検討していますが、財政負担が大きいことは事実です。県に対し補助対象の拡大を要望していくとともに、引き続き検討してまいります。



17 高齢者福祉について

質問者 内田 謙

質問 春日井市は、食の自立支援として、食事の準備や調理が困難なおおむね65才以上のひとり暮らしの方などを対象に、栄養バランスのとれた昼食を週3回配達し、合わせて安否の確認も行っている。

栄養バランスのとれた食事を毎日提供できれば健康増進に寄与でき、きめ細かい安否確認にもなる。配食サービスを毎日実施する考えはないか問う。

その他の 商工業者への支援について
質問事項

担当 高齢福祉課

【答弁】食の自立支援事業は、ひとり暮らしの高齢者等を対象として、安否確認を兼ね栄養バランスのとれた食事を週3回届けています。配食回数については、事業の目的から考えれば、多い方が望ましいと考えますが、現行の事業内容のままで回数を増やせば、財政負担が非常に大きなものとなります。このため、実施内容の見直しを検討する中で、配食回数についても検討してまいります。



平成21年第6回定例会予定

11月25日(水) 本会議(提案理由説明)
11月27日(金) 本会議(質疑、委員会付託)
12月1日(火) 文教経済委員会
12月2日(水) 厚生委員会
12月3日(木) 建設委員会
12月4日(金) 総務委員会

12月8日(火) 本会議(一般質問)
12月9日(水) 本会議(一般質問)
12月11日(金) 本会議(採決)

議事の都合により、日程が変更になる場合があります。

問い合わせ 議事課(☎85-6492)

傍聴のお知らせ

【本会議を傍聴される方】

本会議は通常午前10時に開会します。傍聴を希望される方は本庁舎5階の議場傍聴席入口にお越しく下さい。定員は88名で、うち車いす席は6席です。



【委員会を傍聴される方】

常任委員会は通常午前9時に開会します。当日の午前8時30分から午前8時45分までに市役所3階議会事務局にお越しく下さい。定員は5名で定員を超えた場合は抽選により決定します。

編集後記

第5回定例会は、「政権交代」という歴史的な時を迎えたなかでの緊張度の高い議会でありました。

緊急雇用創出事業など、補正が過去最大級でしたので、分厚い議案書を前にネジリ八チマキで悪戦苦闘いたしました。補正は、国の交付金を最大限に活用し景気の早期回復や福祉・子育て支援・雇用・地域基盤整備を図るもので、市全体の活性化や生活の安定につながればとの思いで集中審議いたしました。

晩秋を迎え、皆様におかれましてはインフルエンザの流行に注意し健康にお過ごしください。

編集委員一同